

## はじめに

令和4（2022）年2月に栃木県教育委員会に対して、県立高校の在り方検討会議から提言が提出されたことを受け、学識経験者、教育関係者及び保護者の代表で構成される県立高等学校入学者選抜制度改善検討委員会を設置し、現行の全日制課程入学者選抜制度の検証を行い、今後の制度改善の方向性について検討を進めてきた。

本報告書は、これまでの検討結果を踏まえ、改善の方向性について取りまとめ、県教育委員会に提出するものである。

## I 現行制度の概要

全日制課程の入学者選抜では、2月上旬に特色選抜、3月上旬に学力検査を課す一般選抜を行っている。

## II 現行制度の検証

特色選抜はこれまで一定の評価が得られており、今後も継続することが望ましいと考え、以下(1)から(3)について検証を行った。

### (1) 特色選抜に出願するための資格要件に関する検証

各高校で示す「出願するための資格要件」は抽象的でわかりにくいいため、より具体的に明示する必要がある。

### (2) 選抜の方法に関する検証

#### ① 学力検査の実施について

高校3年間の学習を継続できるだけの学力を有していることを高校では受検者に求めている。また、中学校までに身に付けた学力を入学者選抜の段階でしっかりと評価してほしいという中学校からの意見や、学力検査を受けない特色選抜では、高校入学後の学力に不安を抱くという保護者の意見もある。

#### ② 多様な選抜の方法の導入について

入学者選抜において、受検者の個性や能力・適性を多面的に評価することは重要であることから、特色選抜では、面接、作文（小論文）に限らず、学校や学科の特色に応じた多様な選抜の方法を工夫していく必要がある。

### (3) 入学者選抜の日程に関する検証

#### ① 特色選抜・一般選抜について

特色選抜と一般選抜の日程を分けて行っている現行の制度では、特色選抜の不合格は受検者にとって心理的な負担となっている。

#### ② 追検査・再募集について

多くの都道府県でインフルエンザ罹患者に対する追検査を実施している。また、欠員のある高校における再募集については、中学校や保護者から実施を求める意見が出ている。

## III 今後の制度改善の方向性（全日制課程）

### 【提言1】 全ての受検者に対する学力検査の実施

特色選抜の受検者も含め、全ての受検者に対して学力検査を実施

### 【提言2】 特色選抜と一般選抜の日程の改善

特色選抜と一般選抜を連続する2日間以上の同一日程とし、全ての受検者が一般選抜に出願した上で、その高校の示す資格要件に合致する受検者は、本人の希望により特色選抜も併せて出願できる制度を検討

### 【提言3】 特色選抜における多様な選抜方法の導入

特色選抜に出願するための資格要件を、より理解しやすいものにするとともに、例えばプレゼンテーションや実技検査など、各学校の実態に応じた独自の検査を設定することで、学力検査では測ることの難しい側面を評価

### 【提言4】 追検査・再募集の実施

インフルエンザ罹患者等に対する別な期日で行う追検査の実施や、欠員のある高校における再募集の実施を検討。追検査や再募集の日程は、私立高校への影響もあることから、適切な時期に設定

## IV 制度改善に向けて望まれること

○入学者選抜制度の変更については、受検者への周知期間を十分に取る必要があり、制度の変更を公表してから一定の年数を経過した後に実施することが望ましい。

○入学者選抜事務の負担軽減を図るため、入学者選抜事務の電子化等について県教育委員会において検討していく必要がある。

○定時制・通信制課程の入学者選抜制度についても県教育委員会において検討していく必要がある。